

オスカー・ワイルド研究

第20号

目次

- 巻頭言 会長 川端 康雄 (5)
- 《特集》ワイルド研究者としての本間久雄
緒言 川端 康雄 (7)
- ロンドンの本間久雄、1928年
——ワイルドの唯美主義思想と「日本」(基調報告) 平田 耀子 (9)
- 『生活の藝術化』から『英國近世唯美主義の研究』へ
——本間久雄のウィリアム・モリス研究を中心に 川端 康雄 (35)
- 本間久雄と英国の1890年代
——ワイルド、シモンズ、ピアボウム 庄子ひとみ (55)
- 《論文》
バーナード・ボザンケの初期美学論考
——社会改良の哲学はいかにして唯美主義に応答したか 町本 亮大 (71)
- オスカー・ワイルドの喜劇における
「芸術家ワイルド」と「人間ワイルド」の葛藤 宮本 裕司 (85)

《書評》

オスカー・ワイルド著、富士川義之訳『ドリアン・グレイの肖像』、
『童話集 幸福な王子 他八篇』 佐々井 啓 (103)

オスカー・ワイルド著、宮崎かすみ編訳
『新編獄中記——悲哀の道化師の物語』 小川 公代 (108)

Leanne Grech, *Oscar Wilde's Aesthetic Education:*

The Oxford Classical Curriculum 大淵 利春 (116)

執筆者紹介 (121)

学会記録 (122)

大会発表要旨 (123)

協会規約 (126)

役職者一覧 (128)

投稿規定 (129)

編集後記 編集委員長 鈴木 英明 (130)